

抗菌薬の薬物動態に関する研究

(1)研究の概要

抗菌薬の中には、薬物血中濃度測定を実施して適正な濃度を維持することで効果の向上や副作用軽減につなげるが必要な薬剤があります。しかし、腎臓病患者さんでの血中濃度の推移は予測することが難しく、抗菌薬を適正に使用することが困難になることがあります。今回、腎臓病患者さんでの抗菌薬の血中濃度測定結果を調査し、関連する因子や、血中濃度予測を行うための計算式を検討いたします。

(2)対象

2012年1月から2016年3月に当院でバンコマイシン、テイコプラニン、アルベカシン、アミカシン、ゲンタマイシン、トブラマイシンを投与された慢性腎臓病(CKD ステージ3～5D)の患者さん

(3)方法

診療録の記載から、各薬剤の投与歴と薬物血中濃度の推移や、年齢、身長、体重、腎代替療法施行歴、血清および尿中クレアチニン濃度、血清アルブミン値、尿量等のデータを収集します。

(4)予測される結果(利益・不利益)について

診療の記録を後から分析しますので、診療の時点での利益・不利益はありません。

(5)個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。また、研究の発表時にも個人情報は使用されません。

(6)研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

(7)費用について

謝礼などはお渡ししておりません。

(8)問い合わせ等の連絡先

日本赤十字社医療センター 薬剤部 小林綾子

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話：03-3400-1311